



令和4年 11月の保育園だより



坂みみょう保育園



地域公開保育と第三者委員さんのお一日園長

について（お知らせ）

コロナ禍が続く中、地域の皆様との交流が園開放以外で出来ない状況が続いていますが、今年度は地域公開保育を開催して、地域の皆様に保育園の子ども達の様子を参観していただこうと思います。

また、保育園の行事などに園児の祖父母の皆様も人数制限などがあり、来園できないこともありますので、この機会に是非お越しください。

なお、この日は、坂みみょう保育園の第三者委員さんの小迫清志様や見藤洋子様にもお越しいただいて、「一日園長」として情報交換することにもなっております。

体調の悪い方はご遠慮いただくこともありますのでご理解、ご協力をお願いいたします。（マスク着用、検温、手指消毒など）

日時：11月10日（木）午前10時～11時

場所：坂みみょう保育園

対象：坂町内の未入園の乳幼児と保護者

園児の祖父母、地域の皆様、行政、学校関係者

近所の皆様にもお知らせください。ご来園お待ちしております。

安全管理について（お願い）

表門のドアにすり抜け防止の

ワックをつけています。送迎時、子ども達が自分でドアの開閉をしないようご面倒ですが、保護者の皆様からも子ども達に注意を向けてください。

『質の高い保育って？何？』

～アートな生活とあそび展を振り返って～
朝夕の冷え込みは身に染みるようになりましたが、小春日和が続き野山の色づきを感じる頃となりました。

先月29日（土）に開催した『アートな生活とあそび展』では、保護者の皆様、さくらんぼ会役員の皆様のご協力の下、コロナ禍ではありますが、子ども達の笑顔がたくさん見られた半日となりました。

子ども達が心躍らせながら自然、物、人との出会いの中で五感を通して感じ、考え、表現しているあそびの現在（いま）と一緒に楽しんでいただけたでしょうか。

また子ども達一人ひとりの思いや学びが伝わり、その成長の喜びを感じていただくことができたでしょうか。

乳児クラスでは、今回初めての取り組みとして保護者の皆様から家庭でのマイベストショット（写真）一枚を提供していただき、フォトギャラリーと題しての展示をさせていただきました。

職員も子ども達の姿を、毎月のクラスだよりやドキュメンテーションでお伝えしてはおりますが、何よりも職員が驚いたのは、保護者の皆様のベストショットの選び方とその理由です。家庭での生活の場面あり、あそびの場面ありでしたが、保育園では見せない表情のアングルの写真もあり、家庭での様子や保護者の皆様の思いを知るきっかけにもなりました。

「笑顔がかわいかったから」はもちろんのこと、「あそびに集中していたから」「不思議そうに見つめていたから」「見立てて、ごっこあそびしているようだったから」「泣いている姿も理由があり、かわいかったから」「いらすらばかったから」など我が子らしさと素敵なコメントの数々でした。

保護者の皆様からの写真の提供は、家庭と保育園が一緒になって子育てをしていくという発信にもなりました。子どもを真ん中に保護者の皆様と職員がどんな眼差しで、どんな力を育てることが大切なのか、同じような目線で子育てを語り合うきっかけにもなったように思います。

子ども達の思いに気付きどう寄り添う

かは「質の高い保育」の鍵となります。早期教育を求めたり、教え込んだり、できるようになることばかりを望むことが、「質の高い保育」ではないのです。

今年度は年長さんがクラスの人数も多いので、隣に位置するホールも生活やあそびの空間として利用しています。9月半ば頃より絵本「わたしのじてんしゃ」をきっかけに、設計図ができ、自転車が引っ張る空想のお部屋ということで、ホールにダンボールを利用してのお部屋作りが始まりました。継続的なあそびの空間となり、あそびも色々変化していたようです。年長さん同士でもイメージのずれはあり「ああしたいのに。」「こうしたいのに。」と折り合いをつけながらあそびが展開し、絵本にはないお部屋も増えました。

そこを覗きに来た年中さんや、年少さんが一緒にあそびの場を共有することになり、数日が経ったある日です。絵の具でペタペタと色いろな所に絵を描き始めた年中さんやお部屋を壊してしまった年少さんに怒りをあらわにした年長さんの姿がありました。

イメージのずれを解消し、お互いが安心して遊べる場にするためには、気持ちを伝えることしかありません。年長さんによるプレゼン（説明）の場を設け、イメージの共有を図りました。その数日後、年長さんの中に、年少さんの作った物に貼り付けてあったビー玉を黙って取ってしまうという行為があったので、話し合っって年少さんの思いや一緒にあそぶ意味を考える場にもなりました。

集団で生活しあそんでいると楽しいこととともに、トラブルもいっぱいあって、その解決方法として言葉で表現しながら、相手の思いに気付く場を共有することが、とても重要なこととなります。

「質の高い保育」を目指す私達職員は、子ども達の思いを読み取り、子ども達とともに問題解決しながら、自分自身で前に進む力、即ち、指示がなくても状況判断ができる力の育成に向け、努力しなければなりません。

『みつめ・みまもり・みきわめる』という演題で、坂小学校校長木村彰先生の講演会があります。保護者の皆様も一緒に子ども達の思いに気づく寄り添い方を一緒に考えてみませんか。（園長）

幼児クラス保育参観・

家庭教育学級講演会

幼児クラスの保育参観を開催して子ども達の成長の姿の現在（いま）をご確認いただけたらと思っています。

今回の参観は、幼児クラスが同時参観の後、家庭教育学級講演会を企画しております。コロナ感染拡大予防のため参加については、同居の健康観察をしているご家族の中から一人の子どもさんについて保護者1名です。

室内での参観になりますのでご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

家庭教育学級講演会中の未入園の託児を坂町生涯学習課の担当の方がして下さいますが、申し込みが必要です。在園児については、講演会終了まで保育をいたしますので、希望の方は担任までお知らせください。

日時：11月12日（土）

保育参観 午前9時～10時20分
（各クラス）

家庭教育学級講演会

午前10時30分～10時30分 講演
10時30分～10時40分 質疑応答

演題

就学前家庭教育にのぞむこと
～みつめ・みまもり・みきわめる～

講師

坂小学校校長 木村 彰 先生

事前アンケートにも答えていただきます。

保護者会さくらんぼ会 会主催行事 について

- ① さくらんぼ会との共催で、年中、年少さんのバス遠足を開催いたします。園バス、レンタカーの2台で小屋浦みみょう保育園のお友だちと交流や秋の自然を満喫致します
11/2（水）年中 11/15（火）年少
- ② 阿部玲子先生の運動遊びの会
11/8（火）年少

※さくらんぼ会の年間行事に計画され、保護者会費を
利用させていただいております。